



仕様書No. F J 納仕 - A B 7 3 A

平成 年 月 日

プラフレキPFD/PFS用

薄鋼コンビ

(ワンタッチ式)

仕 様 書

古河電 株式会社
AT・機 能 樹 脂 事 業 部 門
機 能 樹 脂 製 品 部



古河電気工業株式会社



1. 適用範囲

本仕様書は、プラフレキPFD/PFSと薄鋼電線管（ねじなし電線管）とを繋ぐ薄鋼コンビ（ワンタッチ式）（以下、製品とします。）について適用します。

2. 種類

製品の種類及び品番は表1の通りとします。

表1 製品の種類及び品番

種類	呼び径	品番	適合する電線管
PFD/PFS 用 薄鋼コンビ (ワンタッチ式)	16	PFS-16JC	PFD/PFS 16～薄鋼 19, E19
	22	PFS-22JC	PFD/PFS 22～薄鋼 25, E25
	28	PFS-28JC	PFD/PFS 28～薄鋼 31, E31

3. 特性

3-1. 外観・構造

製品の外観及び構造は次に適合するものとします。

- (1) 製品の管軸に対して直角に切断した内断面は、円形であること。
- (2) 製品の内面で、電線と接触する部分には電線の被覆を傷めるような有害な欠点がなく、滑らかであること。
- (3) 製品は、接続したときに、可とう管に孔をあけたり、亀裂、ひび又は割れを生じたりせず、可とう管の内径を10%以上減少させない構造のものであること。
- (4) カップリングは、中央に管止めを設けてあること。

3-2. 形状及び寸法

製品の形状及び寸法は、添付図面 PFN0077A の通りとなります。

3-3. 性能

製品の性能は、4. 試験によって試験を行った時、表2に適合しなければならないものとします。



表2 性能

項目	性能	試験適用項
耐衝撃性	12個中9個以上のサンプルに、分解の兆候がなく、裸眼又は矯正眼で見えるひび又は割れがなく、かつ、それらが正常に使用出来ないような変形がないこと。	4-3
引張強度	(1) 製品は始めに電線管に組み立てた状態のままであり、裸眼又は矯正眼で見えるひび又は割れがないこと。 (2) 金属電線管との接続が緩まず、かつ、金属電線管がすべらないこと。	4-4 4-5
※耐燃性 (自己消火性)	グローワイヤーを取り去ってから、30秒以内に消火すること。	4-6
耐蝕性	表面にふくれ、はがれ、サビ等が生じないこと。	4-7
横圧強度	継手が破損せず、電線管との接続が緩まないこと。	4-8

4. 試験

4-1. 外観・構造

外観及び構造は、目視によって調べます。

4-2. 寸法

23±2℃の温度にて J I S B 7 5 0 7 で規定するノギスを用いて、測定します。

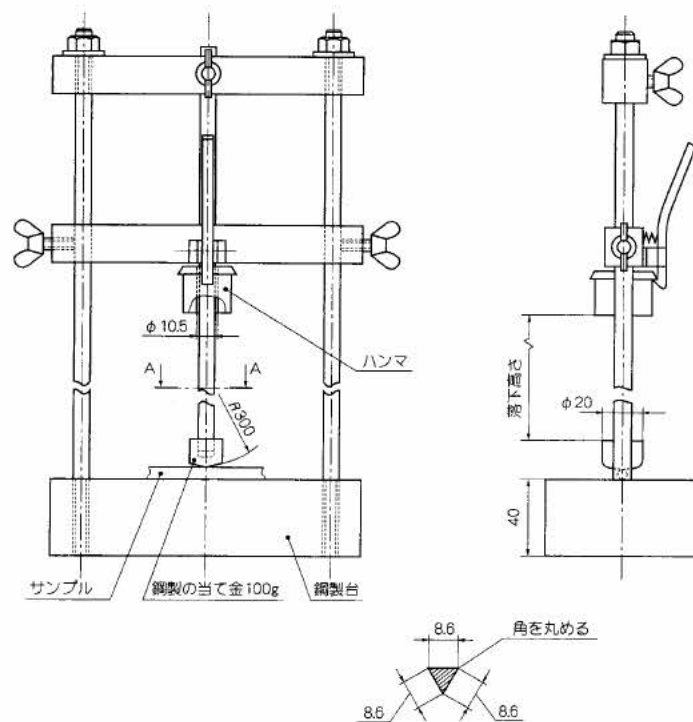
4-3. 耐衝撃性試験

(1) 試験は12個のサンプルについて行います。

(2) 試験装置は、図1に示すものを使用し、圧縮する前の厚さが40±1mmで、密度が538±22kg/m³の衝撃吸収材の上に置きます。この装置のおもりの質量は2.0kg⁺¹とし、落下高さは100±1mmとします。



- (3) サンプルを試験装置と共に $-25 \pm 2^\circ\text{C}$ の温度に2時間、又はサンプルが規定の温度に達するか、いずれか長い方の時間が経過した後にサンプルを試験装置の鋼製台の上に置き、おもりを1回落下させます。
- (4) 試験は、サンプルの最も弱い部分で行いますが、電線管接続口の端部より5mm以内の箇所には衝撃を加えないものとします。



単位：mm

図1 衝撃試験装置

4-4. 引張強度試験（可とう管との接続）

- (1) 試験は3個のサンプルについて行います。
- (2) 適合する電線管と2個の製品を、その全長が300mmとなるように組み立て、組み立て品に、30～40秒の間に荷重が500Nに達するように連続的に増加する引張荷重を加え、荷重が500Nに達したら、2分±10秒の間保持し、その後に荷重を取り去ります。



4-5. 引張強度試験（金属電線管との接続）

- (1) 試験は3個のサンプルについて行います。
- (2) 適合する薄鋼電線管を接続し、表3に掲げる引張荷重を管軸方向に1分間加えます。

表3 引張荷重

品番	適用電線管の公称内径	引張荷重
PFS-16JC	薄鋼（E管）φ19mm	1,471N
PFS-22JC	〃 φ25mm	2,206N
PFS-28JC	〃 φ31mm	2,775N

4-6. 耐燃性試験（自己消火性）

- (1) 試験は3個サンプルについて行います。
- (2) 耐燃性試験は、JIS C 0072 のグローワイヤー試験によります。
- (3) グローワイヤーは、750℃の温度で、サンプルの表面を垂直位置で、最も不利と思われる位置に、30秒間、1回当てます。
- (4) グローワイヤーを取り去ってから火炎又は赤熱が消えるまでの時間を測定します。

4-7. 耐蝕性試験

- (1) 試験は3個のサンプルについて行います。
- (2) 耐蝕性試験は、JIS Z 2371(1976) の「塩水噴霧試験方法」に規定する方法により連続して8時間噴霧し、16時間休止する操作を2回繰り返す、さらに8時間の噴霧を行います。

4-8. 横圧強度試験

- (1) 試験は3個のサンプルについて行います。
- (2) 接続した薄鋼電線管を水平に支持し、継手の部分に表4に掲げる錘をつるし、管軸を中心として1分間に1回転させます。この場合において、支持点間隔は750mmとし、かつ、継手は支持点の中央におくこととします。



表4 錘の質量

継手品番	適用電線管の公称内径	おもりの質量
PFS-16JC	薄鋼 (E管) ϕ 19mm	1.3kg
PFS-22JC	〃 ϕ 25mm	2.2kg
PFS-28JC	〃 ϕ 31mm	3.0kg

5. 本体表示

製品には、1個毎に次の事項を表示します。

但し、(3)については包装箱に表示するものとします。

- (1) 適合する可とう管の記号
- (2) 呼 び
- (3) 製造年月又はその略号
- (4) 販売者名 (略号) : FURUKAWA

6. 包装仕様

6-1. 包装方法

指定数量及び箱の大きさを表5に示します。箱内の最小包装単位ごとにポリエチレン製袋に入れるものとします。

表5 製品の品番・入数・箱サイズ

品番	指定数量 (個×袋)	箱サイズ (mm) 幅×長さ×高さ
PFS-16JC	100個 (10×10)	230×350×130
PFS-22JC	60個 (10×6)	230×350×130
PFS-28JC	40個 (10×4)	230×350×130



6-2. 包装袋及びダンボール箱の表示

ポリエチレン包装袋には下記に示す事項を印刷表示（又はラベルを同封）します。

- (1) 品名及び品番
- (2) 呼 び
- (3) 入 数（ コ入 ）
- (4) 販売者名（略号）

また、ダンボール箱には

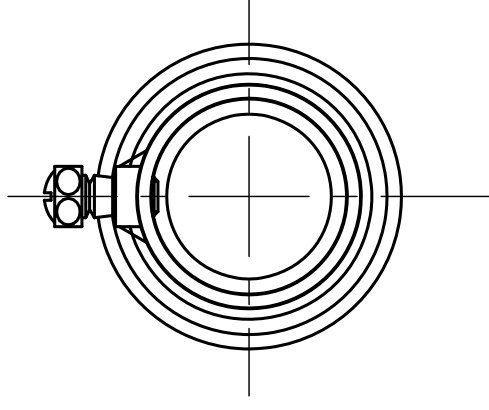
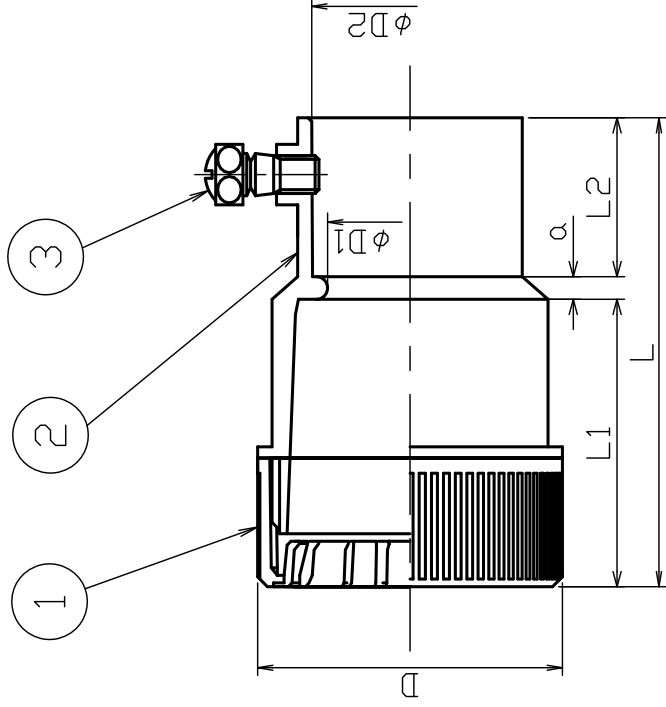
- (1) 品名及び品番
- (2) 呼 び
- (3) 納入数＜ 個（ 袋）＞
- (4) 販売者名（古河電気工業株式会社）
- (5) 製造ロット番号
- (6) 注意表示

・手鉤無用の JIS マーク (JIS Z 0150)

・雨濡禁止 " (")

を表示するものとします。

以上



寸法表

品番	D	L	L1	L2	D1	D2	Q
PFS-16JC	±1.0 32.0	±2.0 50.0	±1.0 29.0	19.0	±0.5 16.0	19.6	1.5 ≤
PFS-22JC	40.0	62.0	38.0	21.0	21.8	25.9	1.5 ≤
PFS-28JC	47.0	69.5	45.5	21.0	28.0	32.3	1.5 ≤

尺	FREE
度	
承	13.06.03
認	13.06.03
製	13.06.03
図	小林
出	
図	

3	ボルト	亜鉛合金	自然色
2	薄鋼側	亜鉛合金	自然色
1	止め具	難燃ABS	ダークグレー
部番	部品名称	材質	個数
名称	薄鋼コンビ		
	PFS-JC		
古河電気工業株式会社			
所	属	番	番
			PFN0077A